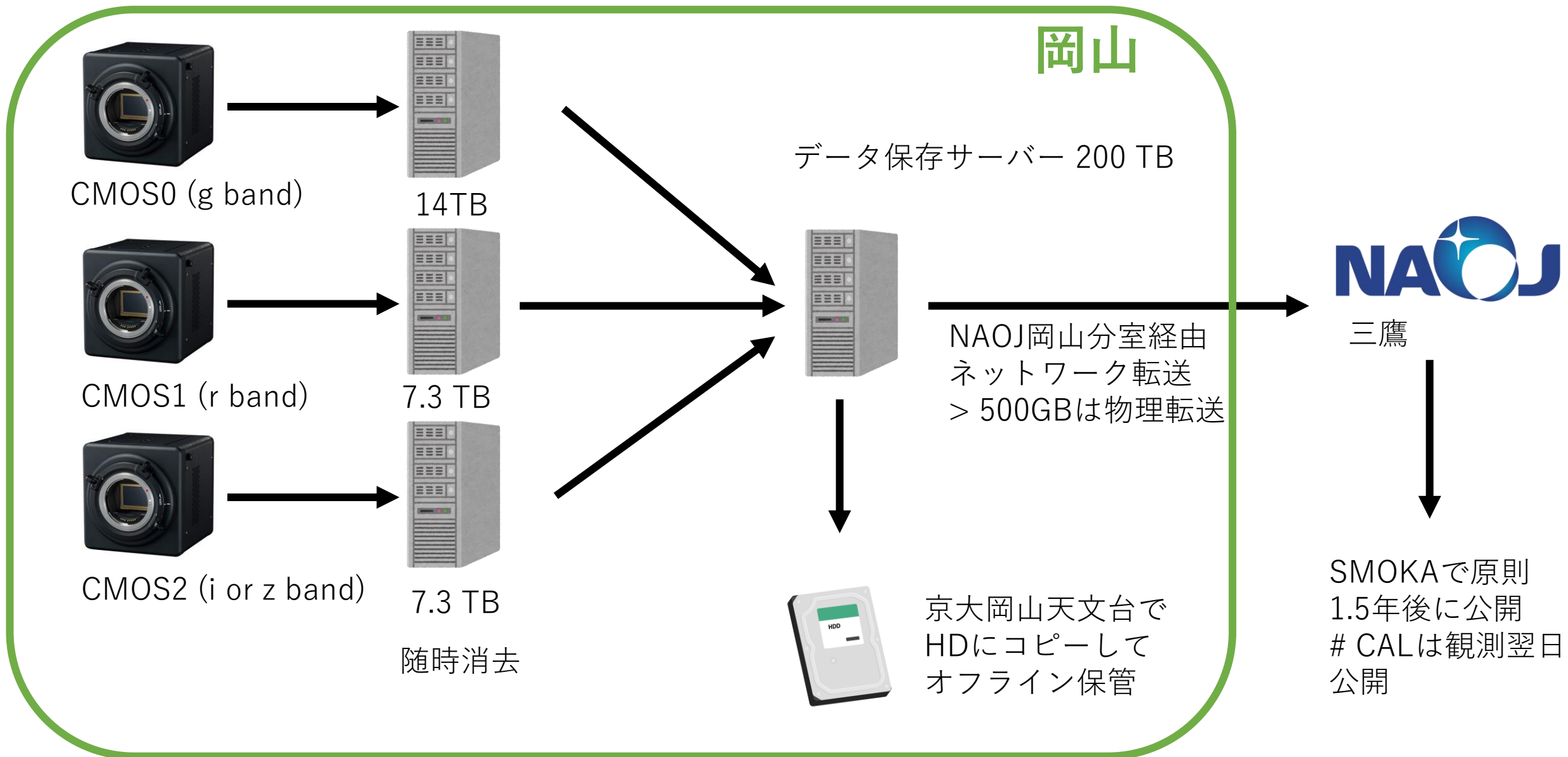


- 京大岡山天文台内TriCCSデータ保存サーバーの生データ削除の必要性
- データ保存サーバーの生データ削除の提案

データ保存・SMOKA公開の流れ



TriCCS生データ保存状況

7月まではエンジニアリング観測を除き3か所で生データを保存していた

1. 京大岡山天文台 データ保存サーバー 200TB
2. 京大岡山天文台 オフライン保管HD
3. 国立天文台三鷹 SMOKAでCALは翌日、観測データは原則1.5年後に公開

岡山天文台内でもデータサーバーとオフラインの二重で保存していたが、今年度に入ってデータサーバーの空き容量が逼迫

→ データサーバーに全データを保存していくのは不可能。21B以前は通知して削除中。削除完了しても80TBの空きしかできない。

→ データサーバーの定期的なデータ削除が必要。削除を実行すると、岡山天文台内では生データはオフライン保管HDのみ。

取得データ量は高速撮像の観測次第だが、1セメスター約50TBの実績

岡山天文台内TriCCSデータ保存サーバーの 生データ削除の提案

定期的な生データ削除を検討しています。サーバーの容量なども考慮して、観測日から1.5年を経過後に削除することを検討中ですが、高速撮像によるデータ量増加も懸念しており、今後TriCCSチーム内で検討を進めてご提案します。

実施による観測者への影響

- 観測者が手元で保存しているデータが消えた場合に、岡山天文台側からのデータの再取得は困難になります。これまで以上に、観測者側でのデータ保存に気をつけて頂く必要があります。

ご意見はございますでしょうか。

GPS 時刻について (詳しくはポスター)

- 2023 年 7 月、CMOS のファームウェアアップデートを行った。
 - 稀に読み出しに失敗するが、ほとんどの場合、正しい GPS 時刻が GPS 画素に記録されるようになった。
- ただし、23B 開始 ~ 2023/9/3 までのデータの FITS header の GEXP-STR (“GPS time at exposure start”) が露出開始時刻になっていない。
 - ファームウェアアップデートに対応するソフトウェアアップデートを行っていなかったため。
 - 最大で「single frame あたりの露出時間 + 1 s」のズレがある模様。
 - ユーザーの皆さまには、村田らより後日連絡予定。
 - それ以前に知りたい方は**ポスターを見て頂くか田口まで個別に連絡をください。**